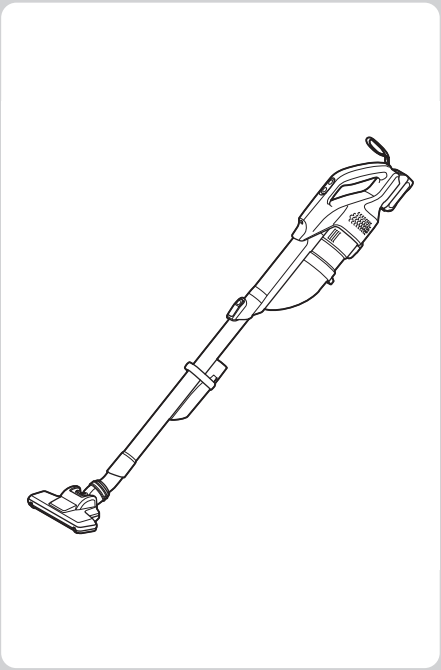
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

充電式クリーナ

モデル CL200FD



このたびは**充電式クリーナ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

もくじ

はじめに

主要機能 …… 2
安全上のご注意 …… 4
各部名称 …… 14
標準付属品の確認 …… 15
別販売品のご紹介 …… 16

ご使用前の準備

組み立て …… 19
バッテリの充電 …… 22
バッテリ／充電器の取り扱い …… 26
使用前に知っておいていただきたいこと …… 31

使い方

バッテリの取り付け／取りはずし方法 …… 32
本製品の操作 …… 33
・ご使用前の注意事項 …… 33
・スイッチの操作 …… 33
・各モードについて …… 34
・LED ライトについて …… 34
・バッテリ切れお知らせ機能 …… 35
・クリーナと付属品の使い方 …… 36
使用後の取り扱い …… 38
・ゴミの捨て方 …… 38
・保管方法 …… 40

保守／点検

お手入れ …… 41
故障かな？と思ったら …… 55
充電式クリーナ 保証書 …… 裏表紙

はじめに

主要機能

主要機能＼モデル	CL200FD
電動機	DC ブラシレスモータ
使用可能バッテリ	リチウムイオンバッテリ
	「別販売品のご紹介」を参照ください。
電圧	直流 10.8 V
集じん容量	250 mL

充電器	DC10SA
入力電圧	単相交流 100 V
入力周波数	50-60 Hz
入力容量	80 W
出力電圧	直流 10.8 V
出力電流	直流 5 A

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

製品の質量および寸法

装着バッテリ	質量※	本製品寸法
BL1015	0.81 kg	長さ 469 mm ×幅 90 mm ×高さ 151 mm （ストレートパイプおよびノズル取り付け時の長さ 1,031 mm）
BL1050B	0.91 kg	長さ 473 mm ×幅 90 mm ×高さ 151 mm （ストレートパイプおよびノズル取り付け時の長さ 1,036 mm）

※：ストレートパイプ、サッシノズル、ノズルホルダ、ノズル非装着時

連続使用時間

・ 数値は、ストレートパイプおよびノズル、高機能フィルタ EX 装着時の参考値です。
・ 数値は温度やバッテリの状態などにより異なります。

モード	連続使用時間	
	BL1015 使用時	BL1050B 使用時
パワフルモード	約 6 分	約 20 分
強モード	約 12 分	約 40 分
標準モード	約 20 分	約 66 分

JPC002-12

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

※イラストは参考例です。製品によりデザインが異なりますのでご了承ください。

注意文の ⚠警告・⚠注意・注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

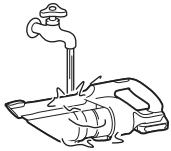
⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

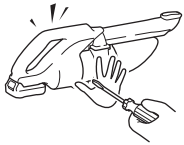
注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

- 水洗いしない。また、風呂場など湿った場所や濡れた場所で使用しない。
  - 感電や発煙の恐れがあります。



- 絶対に分解したり修理・改造しない。
  - 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



- 子供に本製品や充電器で遊ばせない。
  - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

- クリーナの誤始動を防ぐために、次の作業の際は必ずスイッチを切り、バッテリを抜く。
  - ゴミ捨て
  - フィルタ類の清掃（お手入れ）
  - 保管
  - その他危険が予想される作業

- 本製品にバッテリを差し込む際は、スイッチが入らないように注意する。
  - スイッチに指をかけるなど、スイッチが入る状態でバッテリを装着すると、急に動きだし事故の原因になります。

- 本製品の吸込口や排気口に手、髪または身に着けたものを入れない。
  - けがの原因になります。

- 本製品の吸込口や排気口に顔を近づけない。
  - けがの原因になります。

⚠警告

- 屋外で使わない。

- 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。
  - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

- 以下のものは吸わせない。火災やけがやモータの故障の原因となる。

引火性物質
- 油類（灯油・ガソリンなど）
- 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- トナーなどの可燃物
- 塗料
- 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- 可燃性ガス（スプレーなど）
- じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど

爆発性物質
- ニトログリセリンなど

発火性物質
- アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの
- ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピン、針、クリップなど

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）
除湿剤
大量の粉末（小麦粉、灰、消火器の粉など）
人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質
薬品類
液体や湿ったゴミ
動物などの排泄物、吐しゃ物

⚠ 警告

- 使用中、本製品の調子が悪かったり、異臭や発熱、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止する。
  - そのまま使用していると、けがの原因になります。お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

- マキタが指定した付属品や別販売品以外を使用しない。
  - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあります。

- 作業場の周囲状況も考慮する。
  - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

- 無理な姿勢で作業をしない。
  - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

- 火気や暖房器具などに近づけない。
  - 本製品の変形による短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで使用したり、充電したりしない。
  - 爆発や火災の原因になります。

⚠ 警告

- **損傷した部品がないか点検する。**
  - 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - スイッチで始動、および停止操作のできない充電製品は、使用しないでください。

- **充電式クリーナは、注意深く手入れをする。**
  - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

- **温度が 50 ℃を超える可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しない。**
  - 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。
  - 内蔵のバッテリが劣化する原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

- **使用しない場合は、きちんと保管する。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。

- **雨中で充電したり、ぬれた手で電源プラグやバッテリを抜き差ししない。充電器の端子に金属片や水などの異物を近づけない。**
  - 感電やけがをすることがあります。

⚠ 警告

- 交流 100 V で充電する。
  - 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源で充電しないでください。火災の原因になります。
  - ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

- 火災の恐れがあるので、次のようなことをしない。
  - ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、たたみ、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
  - 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
  - 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

- 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグを抜いて充電を中止する。
  - そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- 専用の充電器以外は使用しない。
  - バッテリの液もれ、発熱、破裂の原因になります。
  - 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

- 充電器は充電以外の用途に使用しない。また、バッテリや充電器をマキタが指定した機器以外に使用しない。

- 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。

⚠警告

- **充電器のコードを乱暴に扱わない。**
  - コードを持って充電器を運んだり、プラグコードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

- **充電器のコードが傷んだり、電源プラグの挿し込みがゆるいときは使用しない。**
  - 感電、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- **充電器に使用する延長コードは、使用環境に適したものを使用する。**
  - 延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

  - 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

- **充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜く。**
  - 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

- **バッテリは発熱、発火、破裂の恐れがあるので、次のようなことをしない。**
  - 端子に金属類を接触させないでください。
  - 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
  - 雨や水にぬらさないでください。
  - 分解、改造はしないでください。
  - 火中に投入しないでください。

- **高温などの過酷な条件下ではバッテリから液もれすることがあるため、もれ出た液体に不用意に触れない。**
  - 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

⚠ 警告

- マキタ指定以外のバッテリ、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しない。また、バッテリをマキタが指定した製品以外で使用しない。
  - 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

- バッテリや充電器を充電中に布などで覆わない。
  - 換気の良い場所で充電してください。発熱や破裂、発火の原因になります。

- 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しない。
  - 発熱や破裂、発火の原因になります。
  - 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

- 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しない。
  - 継続して使用すると、発熱や破裂、発火の原因になります。

- バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。該当するバッテリを輸送する際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従う。
  - 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

- 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てない。
  - 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

- 十分な防じん対策をする。

- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しない。
  - アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

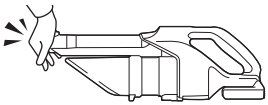
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は依頼できない。

⚠ 注意

- **付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。**
  - 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。

- **フィルタ類を正しく取り付ける。**
  - フィルタ類を確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタ類を取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

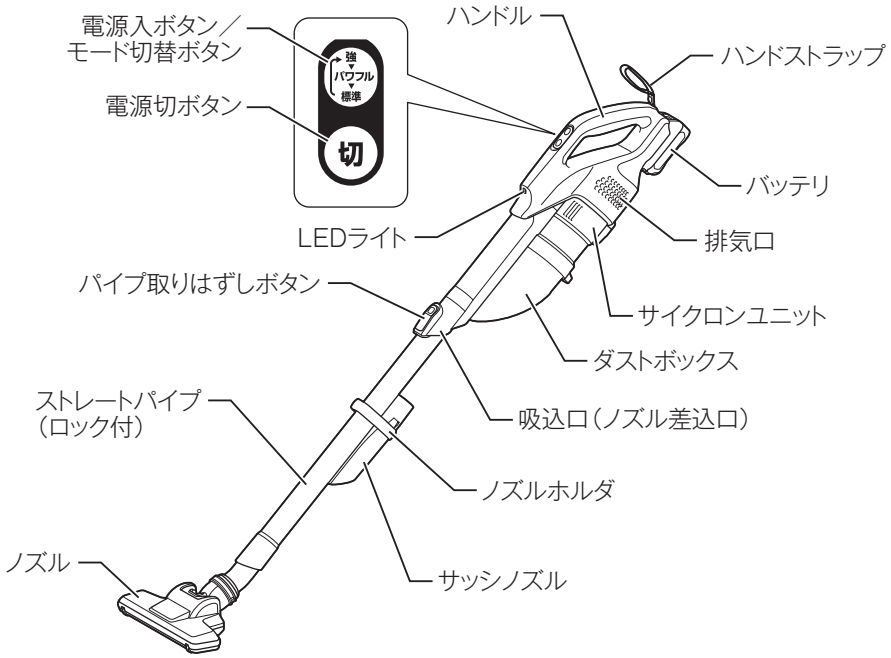
- **吸込口をふさいで長時間運転しない。**
  - 過熱による本製品の変形、発火の原因になります。



- **排気口をふさがない。**
  - 火災の原因になります。

- **高所で使用するときは、本製品が落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルやストレートパイプを持たないで必ず本製品のハンドルを持って運ぶ。**
  - 本製品や付属品がはずれたりして落下すると、けがや故障の原因になります。
  - ハンドル以外を持って持ち運ぶと、本製品からはずれるなど落下の原因になります。

各部名称


電源入ボタン／
モード切替ボタン
強
パワフル
標準
電源切ボタン
切
ハンドル
ハンドストラップ
バッテリ
LEDライト
排気口
パイプ取りはずしボタン
サイクロンユニット
ダストボックス
ストレートパイプ
（ロック付）
吸込口（ノズル差込口）
ノズルホルダ
ノズル
サッシノズル

標準付属品の確認

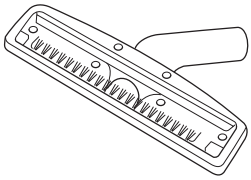
標準付属品＼モデル	CL200FDZ	CL200FDSH	CL200FDST
バッテリ（容量）	×	BL1015（1.5 Ah）	BL1050B（Typ.5 Ah※1）
充電器（充電時間）	×	DC10SA（約 22 分）	DC10SA（約 75 分）
ノズル	部品番号：127825-8		
ストレートパイプ（ロック付）	部品番号：459353-8		
サッシノズル	部品番号：413770-6		
ノズルホルダ	部品番号：459354-6		
高機能フィルタ EX ※2	部品番号：A-79158		
バッテリカバー	×	部品番号：456128-6	

※ 1：記載の容量は標準的な数値です。
※ 2：高機能フィルタ EX は購入時、本製品に取り付けてあります。

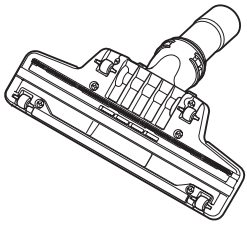
別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

・ じゅうたん用ノズル
部品番号：
A-37546（アイボリー）

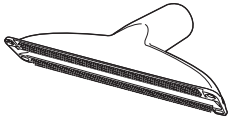


・ フロア・カーペットノズル※
部品番号：
A-73019（スノーホワイト）

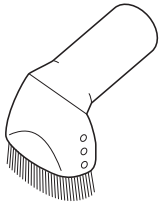


※カーペット掃除でのゴミ捕集率が高く、フローリングでも使用可能です。
※毛足 7 mm 以下のカーペットに対応しています。

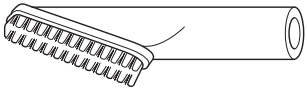
・ シートノズル
部品番号：
A-67022（スノーホワイト）



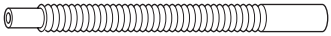
・ ラウンドブラシ
部品番号：
A-65947（スノーホワイト）



・ 棚ブラシ
部品番号：
A-65931（スノーホワイト）

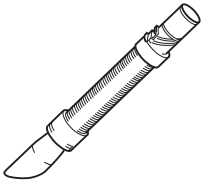


・ フレキシブルホース※
部品番号：
A-65925（スノーホワイト）



※自由に曲がるため、車などの狭い場所の掃除に便利です。

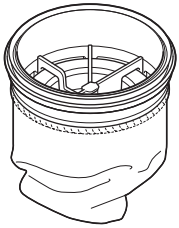
・ ロック付クリーナ用伸縮
フレキシブルホース※
部品番号：
A-70362（スノーホワイト）



※自由に曲がるため、車などの
狭い場所の掃除に便利です。

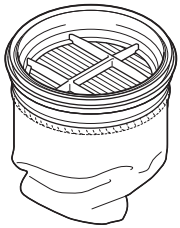
・ ストレートパイプ 340
（ロック付）
部品番号：
459481-9（スノーホワイト）

・ 高機能フィルタ EX ※
（購入時、本製品に取り付け）
部品番号：A-79158



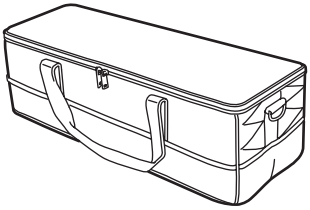
※細かな粉じんを捕集。
※洗浄して繰り返し使えます。

・ 高性能フィルタ※
部品番号：A-79164



※高機能フィルタ EX より、
さらに細かな粉じんを捕集。
※洗浄して繰り返し使えます。

・ クリーナ用ソフトバッグ
部品番号：
A-67153



バッテリおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリ（容量）	BL1015（1.5 Ah）	A-59841
	BL1020B（2.0 Ah）	A-73075
	BL1040B（4.0 Ah）	A-59863
	BL1050B（Typ.5 Ah）※	A-77213
対応充電器	DC10SA（充電器）	JPADC10SA
	DC10WC（充電器）	JPADC10WC

※：記載の容量は標準的な数値です。

組み立て

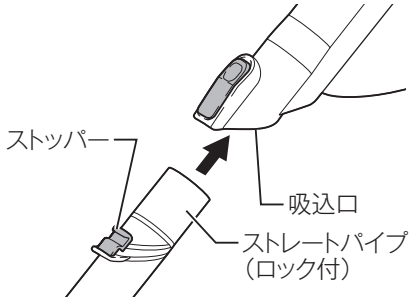
ストレートパイプ(ロック付)の取り付け／取りはずし方法

⚠注意

パイプ部を持って本製品を持ち運ばないでください。パイプが抜けて本製品が落ちる恐れがあります。
・ けがや故障の原因になります。
パイプを取りはずすときは、ゆっくりパイプを抜き取ってください。壁などに手をぶつけ、けがをする恐れがあります。
ストレートパイプやノズルを取り付けたり、取りはずしたりする際は、指をはさまないように注意してください。けがをする恐れがあります。

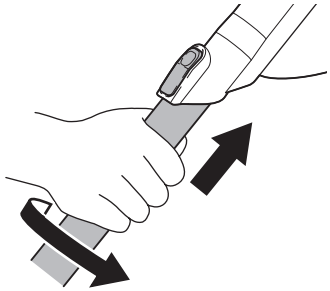
■ 取り付け方

1. ストレートパイプ（ロック付）のストッパーがついている側を上にして、吸込口の溝に合わせます。
2. パイプをしっかり挿し込むとカチッと音が鳴り、ストッパーがロックされます。
3. パイプを軽く引っ張り、はずれないか確認します。



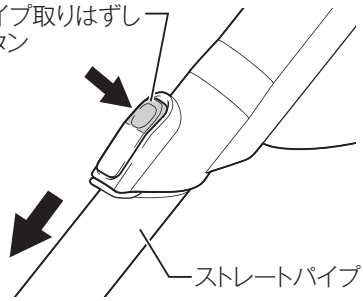
注

- パイプを挿し込む際、上下の向きが合っていない場合はストッパーがロックされず、パイプがはずれる恐れがあります。
- ロック機構無しのストレートパイプを使用する場合
  - しっかりとねじ込んで取り付けてください。



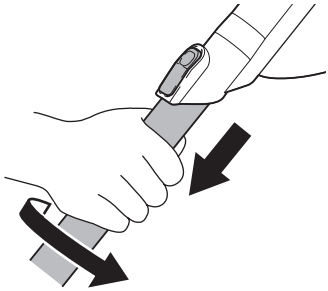
■ 取りはずし方

・ 吸込口の「パイプ取りはずしボタン」を押し込みながら、ストレートパイプを抜き取ってください。



注

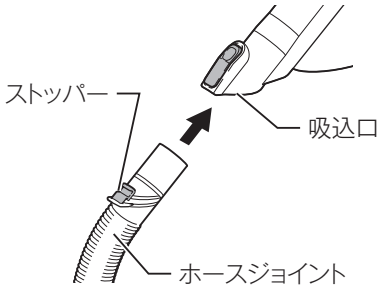
・ ロック機構無しのストレートパイプの場合
  ・ ねじりながら抜き取ってください。



ロック付クリーナ用伸縮フレキシブルホース（別販売品）の取り付け／取りはずし方法

■ 取り付け方

1. ホースジョイントのストッパーがついている側を上にして、吸込口の溝に合わせます。
2. ホースジョイントをしっかり挿し込むとカチッと音が鳴り、ストッパーがロックされます。
3. ホースジョイントを軽く引っ張り、はずれないか確認します。

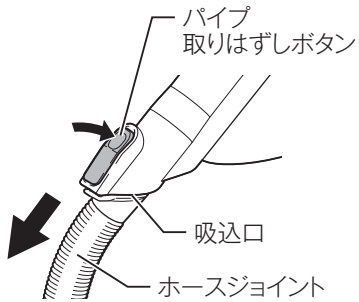


注

・ ホースジョイントを挿し込む際、上下の向きが合っていない場合はストッパーがロックされず、ホースジョイントがはずれる恐れがあります。

■ 取りはずし方

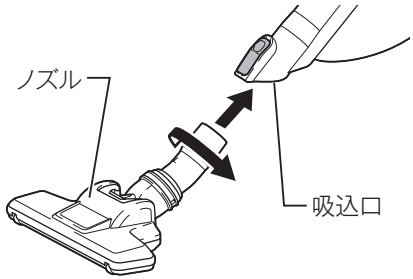
・ 吸込口の「パイプ取りはずしボタン」を押し込みながら、ホースジョイントを抜き取ってください。



ノズルの取り付け／取りはずし方法

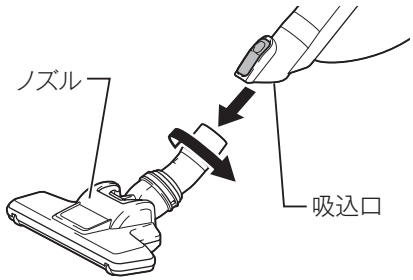
■ 取り付け方

・ ノズルを取り付ける際は、使用中に抜けないようにノズルのパイプをストレートパイプや本製品の吸込口にしっかりとねじ込んで取り付けてください。



■ 取りはずし方

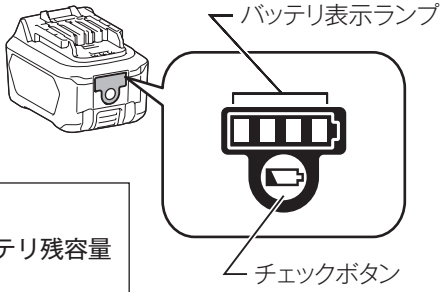
・ 取り付けと同じ要領で、ストレートパイプや本製品の吸込口からノズルのパイプをねじりながら抜き取ってください。



バッテリの充電

バッテリ残容量表示

バッテリ表示ランプを搭載したバッテリでは残容量の確認ができます。
・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。

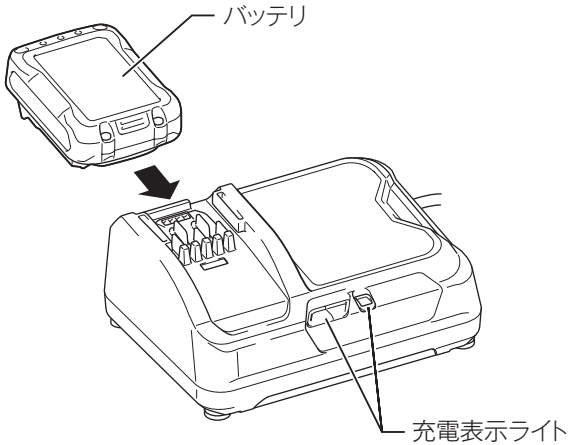


バッテリ表示ランプ		バッテリ残容量
■：点灯	□：消灯	
■ ■ ■ ■		75 % - 100 %
■ ■ ■ □		50 % - 75 %
■ ■ □ □		25 % - 50 %
■ □ □ □		0 % - 25 %

注

・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

バッテリの充電方法



1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに挿し込みます。
・ 充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。
3. バッテリを挿入すると充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。
・ 充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
4. 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約30分です。
5. バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。
（通常充電時のライト表示および表示内容）

ライト表示 点灯 点滅	表示内容
	充電前「緑1個」点滅 電源に挿し込んだ状態です。
	待機「赤1個」点滅 バッテリ・充電器が充電可能な温度状態になった後、自動的に充電開始します。
	充電中「赤1個」点灯 バッテリ容量　約0~80 %を示します。
	80 %充電「赤1個・緑1個」点灯 バッテリ容量　約80~100 %を示します。 （80 %充電表示は、おおよその目安です。バッテリの温度・状態により変動します。）
	充電完了「緑1個」点灯

（異常時のライト表示および表示内容）

	充電不可「赤・緑1個」交互点滅 バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。
	冷却異常「黄」点滅 冷却ファン故障、または冷却不足です。

注

- DC10SA はマキタバッテリ専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤･緑」の交互点滅を繰り返した場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- 充電時間は周囲温度やバッテリの状態により長くなることがあります。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
  ×充電器のプラグを 100 V の電源に挿し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  ×バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
  ×充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、4 時間以上たっても充電が完了しない（表示ライトが「緑」に変わらない）。
- バッテリを使用しないときは、バッテリカバーをかぶせてください。
  バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリ／充電器の取り扱い

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていません。（スイッチを操作すると本製品は動く恐れがありますので注意してください。）
ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品からバッテリを抜いて保管してください。

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 使用直後などの熱くなったバッテリは、充電器に差し込んで冷却してから充電することをおすすめします。
・ 長期間（6 ヵ月以上）ご使用にならない場合､リチウムイオンバッテリは、充電して保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管

・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
×お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
×温度や湿度の急変する所
×湿気の多い所
×直射日光の当たる所
×揮発性物質の置いてある所

充電器の冷却システムについて

・ バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
・ 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

壁に取り付けて使用する際のご注意

⚠ 注意

- 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ２本で確実に吊下げてください。
- 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- 取り付け作業を行うときは、バッテリを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- 充電器本体、バッテリの総重量は、約 1.1 kg になります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

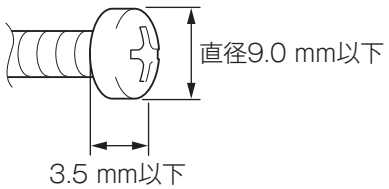
※この充電器は横配置と縦配置の２方向で壁にかけることができます。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

1. 事前準備

用意するもの（別途準備してください）

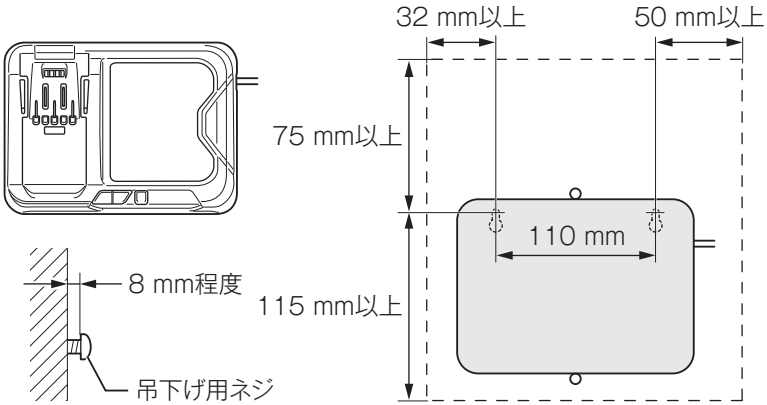
- 木ネジ（吊下げ用）4 mm × 20 mm 以上：２本
  ※ネジ頭は下図の寸法としてください。



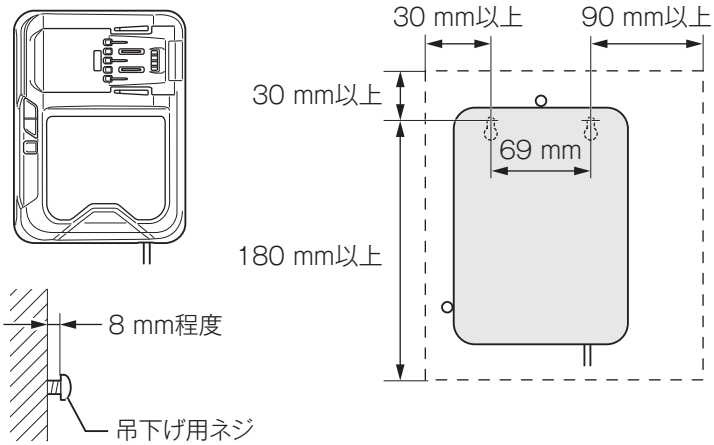
- 木ネジ（固定用ネジ 1）4 mm × 25 mm 以上：１本
- 木ネジ（固定用ネジ 2）4 mm × 40 mm 以上：１本
- 工具（ネジ締め用）

2. 吊下げ用ネジの取り付け
周りに充電器の取り付け作業や、バッテリの充電作業の障害になる出っ張りなどがない、強度のある壁面に取り付けてください。

［横配置の場合］

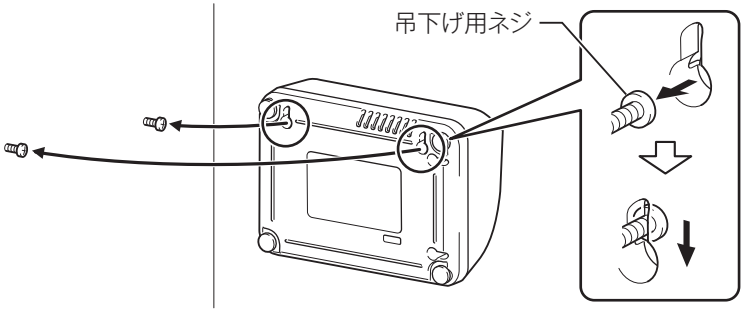


［縦配置の場合］

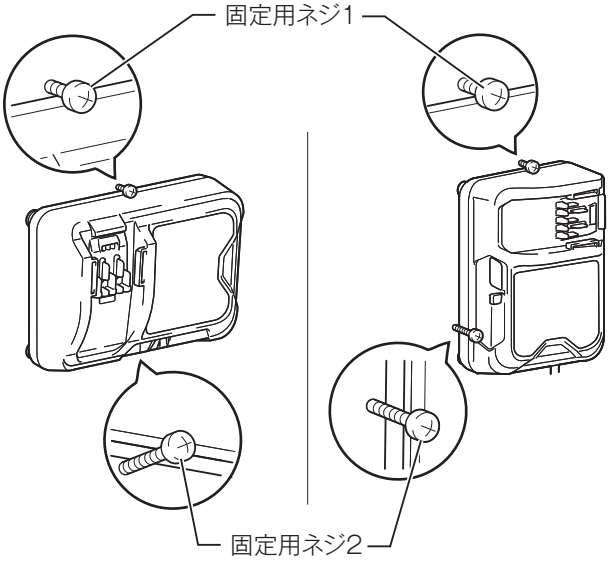


3. 充電器の取り付け
手順２で取り付けた吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。

例:横配置で取り付ける場合



4. 充電器の固定
固定用ネジを図のように締め込んでください。



［横配置の場合］　　［縦配置の場合］

使用前に知っておいていただきたいこと

本製品およびバッテリの保護機能

⚠ 警告
過負荷の原因を解消する際は、必ずスイッチを切り、本製品からバッテリを抜いてください。 ・ バッテリを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとけがや故障の原因になります。

・ 本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能
・ **本製品およびバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。** ・ 使用を中断して本製品からバッテリを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。 ・ バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
・ **バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。** （「バッテリ切れお知らせ機能」（35 ページ参照）） ・ 本製品からバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。
・ **本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。** ・ いったんスイッチを切り、本製品からバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」（55 ページ参照）に従って点検してください。

バッテリの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

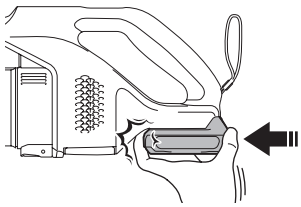
バッテリの抜き差しをする際は、スイッチに指を添えないでください。
・ スイッチに指を添えた状態でバッテリを差し込むと、急に動きだし事故の原因になります。

バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。
・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

⚠ 注意

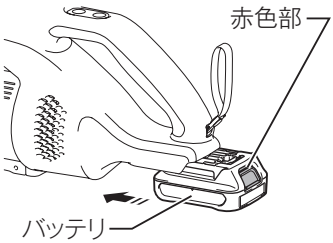
バッテリを取り付ける際は、本製品とバッテリの間で指をはさまないようにしてください。
・ けがの原因になります。

バッテリを交換するときは、落としてけがをしないように注意してください。



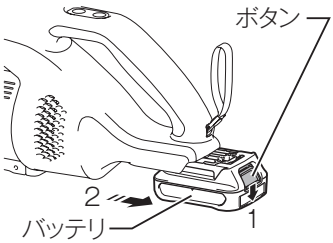
取り付け方

・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



取りはずし方

・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。



本製品の操作

ご使用前の注意事項

⚠ 注意

ご使用前にサイクロンユニットおよび高機能フィルタ EX や別販売品の高性能フィルタなどを正しく取り付けてからご使用ください。

・ 正しく取り付けていないとモータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

高機能フィルタ EX などは本製品性能を維持するための大切な機能部品です。必ずマキタ純正品をご使用ください。

・ マキタ純正品以外の部品を使用すると十分な性能が得られないだけでなく、モータの発煙や発火の原因になります。

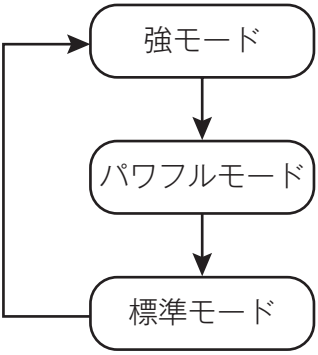
故障を防ぎ、バッテリを長持ちさせるために、使用後は必ずスイッチを切ってください。また、使用しないときは本製品からバッテリを抜いて保管してください。

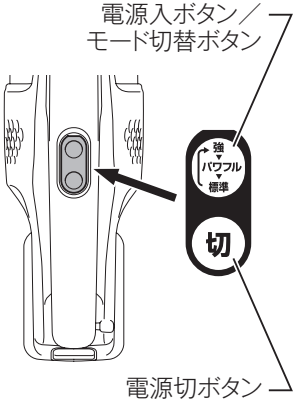
サイクロンユニットのメッシュフィルタや本製品のフィルタ類が目詰まりした状態で長時間使用しないでください。

・ 目詰まりしたまま使用すると、過熱による本製品の変形や発火の原因になります。

スイッチの操作

・「電源入ボタン／モード切替ボタン」を押すと、本製品の電源が入ります。
・「電源入ボタン／モード切替ボタン」を押すごとに、以下の順番でモードが切り替わります。
・ 電源が切れている状態から「電源入ボタン／モード切替ボタン」を 1 回押すと「強モード」になります。
・ 使用中に「電源切ボタン」を押すと、本製品の電源が切れます。





各モードについて

本製品は必要に応じて「吸引力」を次の３段階に切り替えて使用できます。

モード	用途
強モード	強い吸引力が必要な、ゴミやほこりの多い場所で使用してください。
パワフルモード	「強モード」では対応できない、ゴミやほこりの多い場所で使用してください。
標準モード	ゴミやほこりが少ない場所の掃除や、長時間掃除をしたい場合に使用してください。

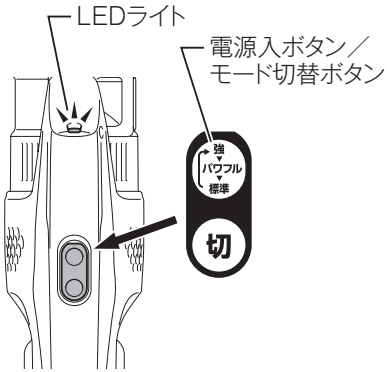
LED ライトについて

⚠ 注意

LED ライトの光を直接のぞきこんだり、人に向けたりしないでください。

・ LED ライトの光が連続して目に当たると、目をいためる原因になります。

・「電源入ボタン／モード切替ボタン」を操作すると LED ライトが点灯します。
・ LED ライトは切ボタンを押すか、モータが自動停止した際に消灯します。



バッテリ切れお知らせ機能

LED ライトが点滅した際は、バッテリを充電器で充電してください。

- ご使用中、バッテリの容量が少なくなると、LED ライトが点滅してお知らせします。
- バッテリの容量がさらに少なくなるとモータが自動停止し、LED ライトが消灯します。

注

- バッテリ切れお知らせランプの点滅のタイミングは、周囲の温度やバッテリの状態によって変化します。

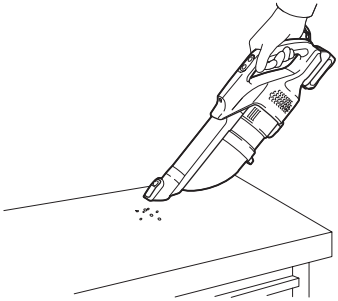
クリーナと付属品の使い方

⚠ 注意

本製品を横向きや上向きで使用しないでください。
・ サイクロンユニットのメッシュフィルタが目詰まりする原因になります。

■ ちょっとしたお掃除に

・ こぼした粉などは本製品で直接吸い込めます。

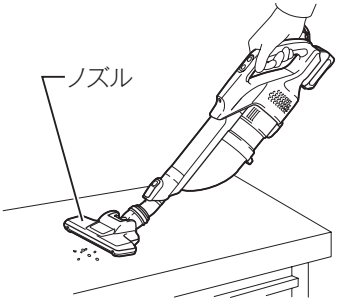


■ ちょっとしたお掃除にストレートパイプを使う

・ 床にこぼした粉などを掃除されるときは、ストレートパイプを使用すると立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。

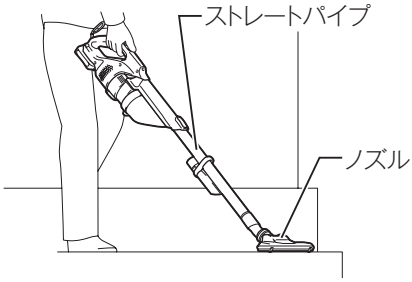
■ ノズルを使う

・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、ノズルを本製品に直接挿し込んでお使いください。



■ ノズル＋ストレートパイプを使う

・ たたみ・カーペット・床など低い所を掃除されるときは、本製品とノズルの間にストレートパイプを使用すると立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。

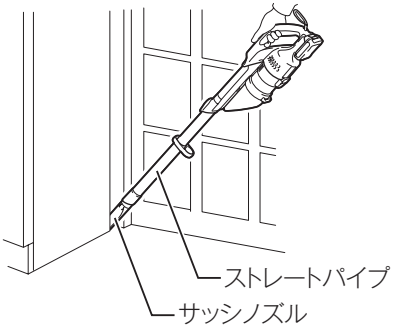


■ サッシノズルを使う

・ 自動車の中や家具などのすきま、サッシの溝など狭い場所を掃除されるときは、サッシノズルを本製品に直接挿し込んでお使いください。

■ サッシノズル＋ストレートパイプ

・ 家具の奥など本製品が当たって入らないときや高い所のすきまなどを掃除されるときは、サッシノズルと本製品の間にストレートパイプを挿し込んで、お使いください。



使用後の取り扱い

ゴミの捨て方

⚠ 警告

ゴミを捨てる際は、必ずスイッチを切り、本製品からバッテリを抜いてください。

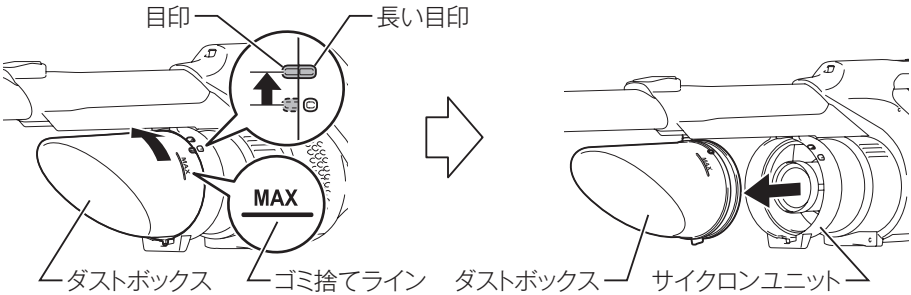
・ バッテリを取り付けたまま不意にスイッチが入ると、けがや故障の原因になります。

⚠ 注意

ダストボックスにゴミを溜めすぎると目詰まりしやすくなり、吸引力が低下する原因になります。

ダストボックスの MAX（ゴミ捨てライン）までゴミが溜まりましたら、次の手順に従って捨ててください。

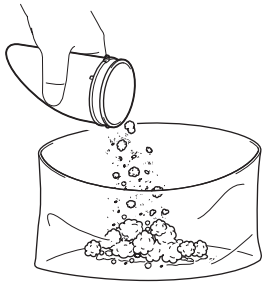
1. ダストボックスをしっかり保持しながら、ダストボックスの目印と、サイクロンユニットの長い目印が合う位置までダストボックスを回転させて取りはずします。



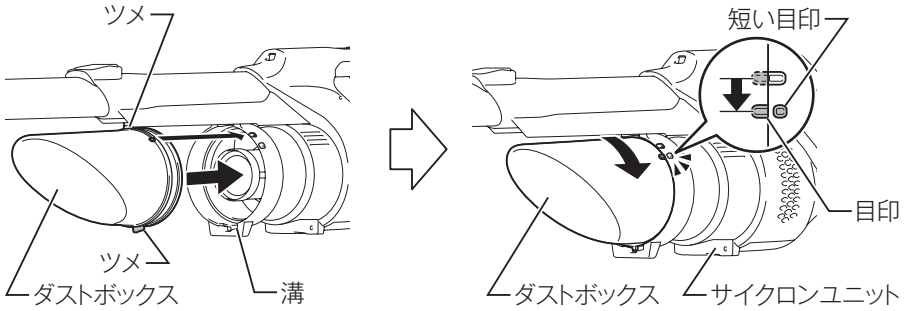
2. ダストボックス内のゴミを捨てます。

注

・ **ゴミを捨てるときに、粉じんが舞い上がらないようにご注意ください。**

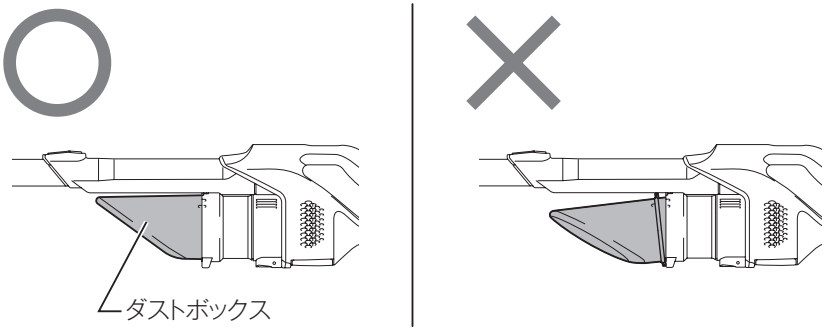


3. ダストボックスの目印と、サイクロンユニットの長い目印の位置を合わせ、上下のツメがサイクロンユニットの溝にしっかり固定されていることを確認して、サイクロンユニットを短い目印の位置までしっかりロックされるまで回転させます。



注

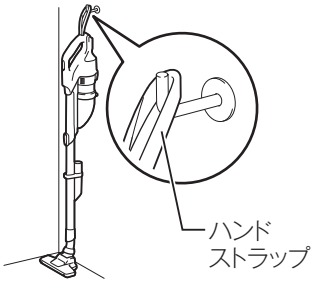
- ダストボックスを取り付ける際は、指をはさまないように注意してください。
- 作業を再開するときは、サイクロンユニット、クリーナ、パイプがそれぞれ確実に取り付いていることを確認してください。
- ゴミを捨てても吸引力が戻らない場合は、フィルタ類が目詰まりしていたり、パイプにゴミが詰まっていたりしないか確認してください。
- フィルタ類のお手入れは「お手入れ」（41 ページ）をご参照ください。
- ダストボックスは確実に取り付けてください。



保管方法

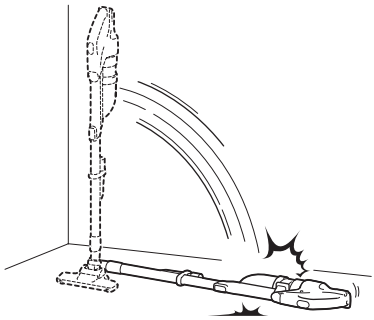
■ 本製品の立てかけ方

・ 本製品を立てかけるときは、ハンドストラップで、市販のフックなどに引っ掛けてください。



注

・ 市販のフックなどを使用せずに立てかけると、転倒して故障やけがの恐れがあります。
・ ハンドストラップ用取り付け部には、ハンドストラップ以外のものを取り付けないでください。他の目的に使用しないでください。



お手入れ

⚠警告

お手入れの際は、必ずスイッチを切り、本製品からバッテリを抜いてください。

・ バッテリを取り付けたまま不意にスイッチが入ると、フィルタの奥にあるファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

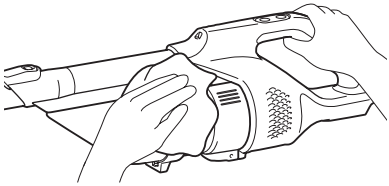
⚠注意

サイクロンユニットのメッシュフィルタや、クリーナのフィルタ類が目詰まりした際は清掃してください。

・ 目詰まりしたまま使用すると、発熱や発煙の原因になります。

本製品のお手入れ

・ 本製品の汚れは、布に薄めた中性洗剤を少量しみ込ませてふきとってください。
・ 吸込口に付いたゴミをふきとってください。

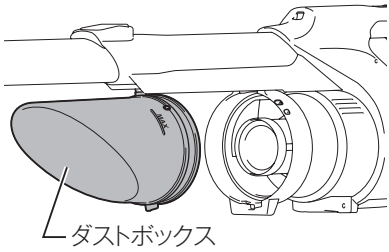


注

・ **水洗いは絶対にしないでください。**
  ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
・ **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは、変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**
・ **エアブロワでの掃除は避けてください。**
  ・ エアブロワなどで掃除しますと、排気口から粉じんなどが内部に入り込んでしまい故障の原因となります。

ダストボックスのお手入れ

・ ダストボックスの汚れがひどい場合は、取りはずして水洗いすることができます（ダストボックスの取りはずし方は 38 ページ参照）。
・ 水洗い後、取り付ける際は十分に乾かしてからご使用ください。



サイクロンユニットのお手入れ

⚠ 警告

サイクロンユニットの取りはずし、取り付けの際は、必ずクリーナのスイッチを切り、本製品からバッテリを抜いてください。

・ バッテリを差したまま行うと、不意な始動によるけがの原因になります。

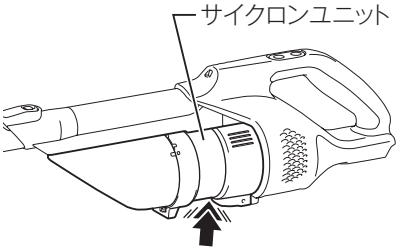
⚠ 注意

フィルタ類を正しく取り付けてください。

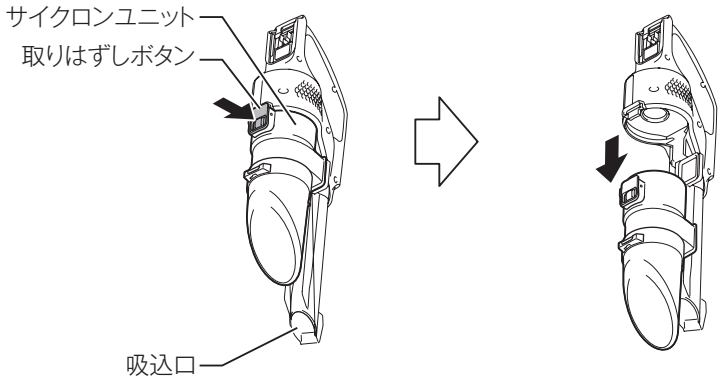
・ フィルタ類を確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタ類を取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

■ 取りはずし方

1. フィルタ類に付着したゴミを落とすために、サイクロンユニットを手で 4 ～ 5 回軽くたたきます。



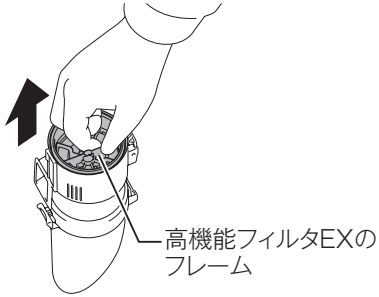
2. 吸込口を下に向けた状態でサイクロンユニットをしっかり保持し、取りはずしボタンを押さえながら矢印の方向に取りはずします。



注

- サイクロンユニットを開ける際にゴミがこぼれる場合がありますので、ゴミ箱を下に置いてから行ってください。
- ゴミを捨てるときに、粉じんが舞い上がらないようにご注意ください。

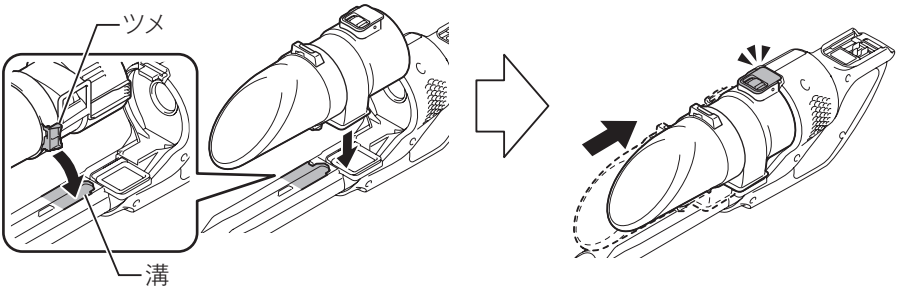
3. 高機能フィルタ EX のフレームをつまみ、サイクロンユニットから引き抜きます。



4. サイクロンユニット内にゴミが溜まっていれば捨てます。

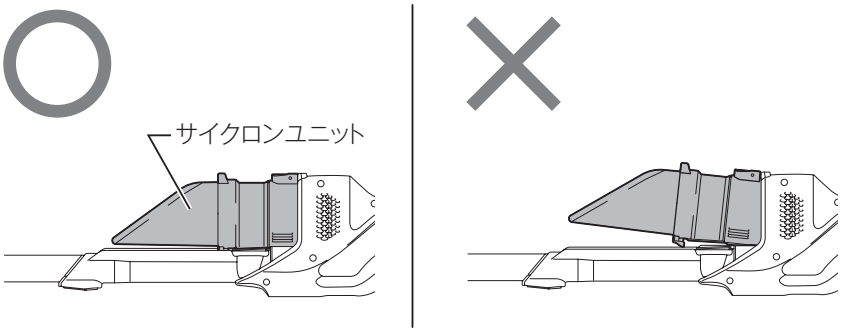
■ 取り付け方

・ サイクロンユニットのツメを本体の溝に入れ、カチッと音が鳴るまでしっかり挿し込みます。



注

・ ご使用前に必ずサイクロンユニットが正しく取り付けてあることを確かめてからご使用ください。



高機能フィルタ EX のお手入れ

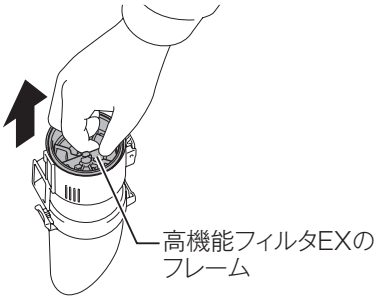
⚠ 注意

フィルタ類を正しく取り付けてください。

- フィルタ類を確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタ類を取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

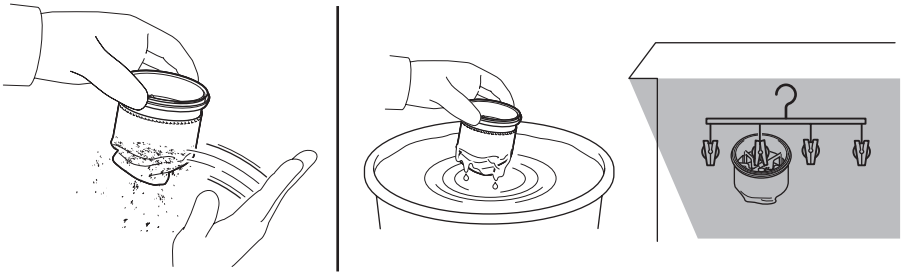
1. サイクロンユニットを取りはずします（42 ページ参照）。

2. 高機能フィルタ EX のフレームをつまみ、サイクロンユニットから引き抜きます。



3. 高機能フィルタ EX から中の細かいゴミを捨て、軽くたたくようにして高機能フィルタ EX に付着したゴミを落とします。

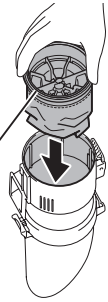
・ 高機能フィルタ EX は水洗いができますので定期的（1 ～ 2 ヵ月ごと）に粉じんを水で洗い流してください。
水洗い後は陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



注

- ゴミを捨てるときに、粉じんが舞い上がらないようにご注意ください。
- 乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。
- フィルタ類は消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。
- ブラシ・ヘラなど硬いものでフィルタ類をこすってキズをつけないようにしてください。
- フィルタ類はキズつきやすいので、エアブロワや高圧洗浄機で掃除をしないでください。

4. 高機能フィルタ EX のフレームをつかみ、サイクロンユニットに押し込むように取り付けます。



注

- 高機能フィルタ EX を取り付ける際は、指をはさまないように注意してください。

5. サイクロンユニットを取り付けます（44 ページ参照）。

注

- ご使用前に必ず高機能フィルタ EX が正しく取り付けてあることを確かめてからご使用ください。

高性能フィルタ（別販売品）のお手入れ

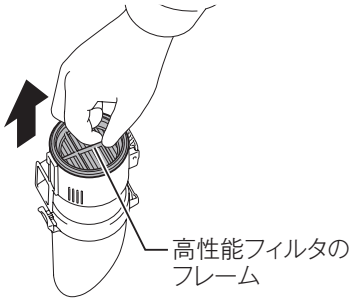
⚠ 注意

フィルタ類を正しく取り付けてください。

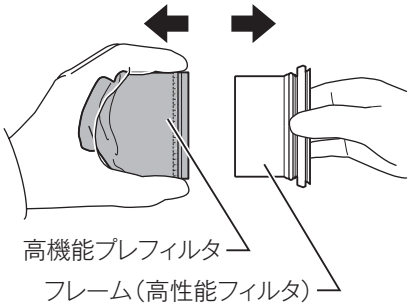
- フィルタ類を確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタ類を取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

1. サイクロンユニットを取りはずします（42 ページ参照）。

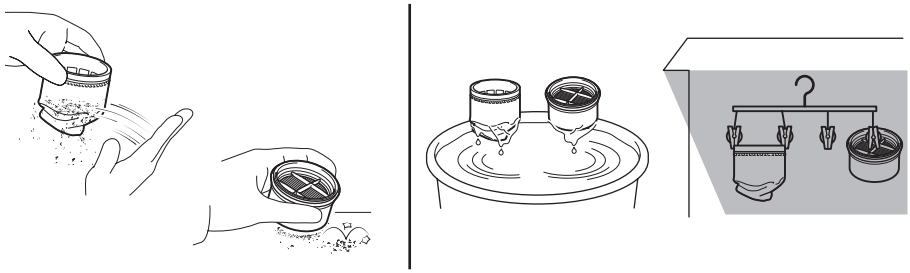
2. 高性能フィルタのフレームをつまみ、サイクロンユニットから引き抜きます。



3. 高機能プレフィルタをフレーム（高性能フィルタ）から取りはずします。



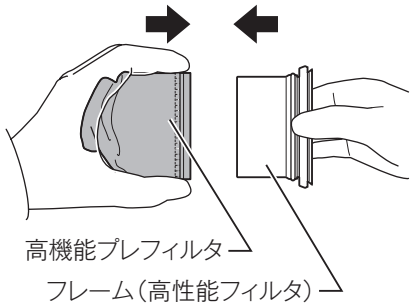
4. 高機能プレフィルタおよびフレーム（高性能フィルタ）の中の細かいゴミを捨て、軽くたたくようにして付着したゴミを落とします。
・ 高機能プレフィルタおよびフレーム（高性能フィルタ）は水洗いができますので定期的（1 ～ 2 ヵ月ごと）に粉じんを水で洗い流してください。水洗い後は陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



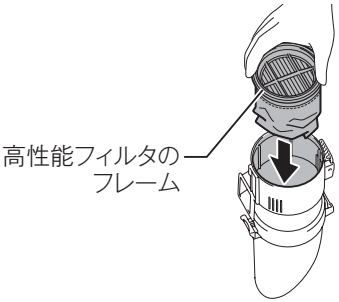
注

・ ゴミを捨てるときに、粉じんが舞い上がらないようにご注意ください。
・ 乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。
・ フィルタ類は消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。
・ ブラシ・ヘラなど硬いものでフィルタ類をこすってキズをつけないようにしてください。
・ フィルタ類はキズつきやすいので、エアブロワや高圧洗浄機で掃除をしないでください。

5. 高機能プレフィルタにフレーム（高性能フィルタ）を取り付けます。



6. 高性能フィルタのフレームをつかみ、サイクロンユニットに押し込むように取り付けます。



注

- 高性能フィルタを取り付ける際は、指をはさまないように注意してください。

7. サイクロンユニットを取り付けます（44 ページ参照）。

注

- ご使用前に必ず高性能フィルタが正しく取り付けてあることを確かめてからご使用ください。

メッシュフィルタのお手入れ

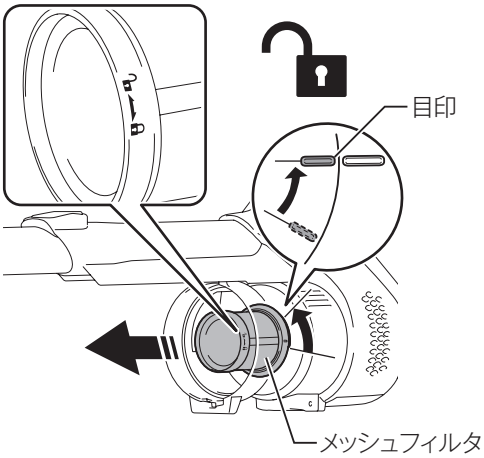
⚠ 注意

フィルタ類を正しく取り付けてください。

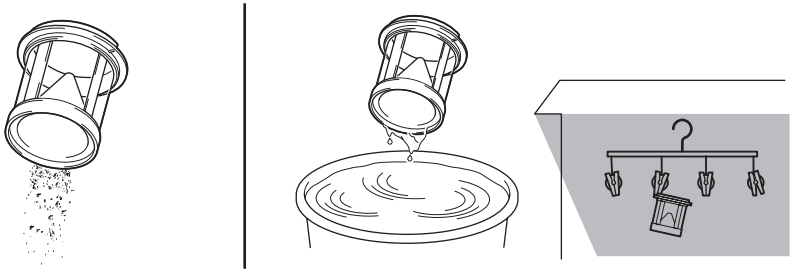
- フィルタ類を確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタ類を取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

1. ダストボックスを取りはずします（38 ページ「ゴミの捨て方」参照）。

2. メッシュフィルタを矢印方向に回し、ツメをはずして抜き取ります。



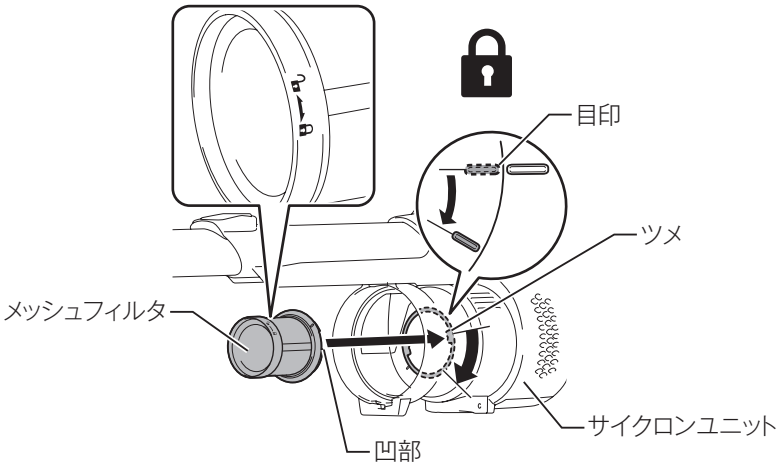
3. 軽くたたくようにしてメッシュパイプに付着したゴミを落とします。
・ メッシュパイプは水洗いができます。水洗い後は陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



注

・ ゴミを捨てるときに、粉じんが舞い上がらないようにご注意ください。
・ 乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。
・ ブラシ・ヘラなど硬いものでフィルタ類をこすってキズをつけないようにしてください。
・ フィルタ類はキズつきやすいので、エアブロワや高圧洗浄機で掃除をしないでください。

4. サイクロンユニットのツメにメッシュフィルタの凹部をはめ込むように挿し込み、矢印方向に回してしっかりと取り付けます。



注

- サイクロンユニットに高機能フィルタ EX または高性能フィルタが取り付けてあるときは、メッシュフィルタのツメとサイクロンユニットの凹部の間に、高機能フィルタ EX または高性能フィルタをはさまないようにしてください。

5. ダストボックスを取り付けます（38 ページ「ゴミの捨て方」参照）。

注

- ご使用前に必ずメッシュフィルタが正しく取り付けてあることを確かめてからご使用ください。

連結部のお手入れ

⚠ 警告

ダストボックスおよびメッシュフィルタの取りはずし、取り付けの際は、必ずクリーナのスイッチを切り、本製品からバッテリを抜いてください。

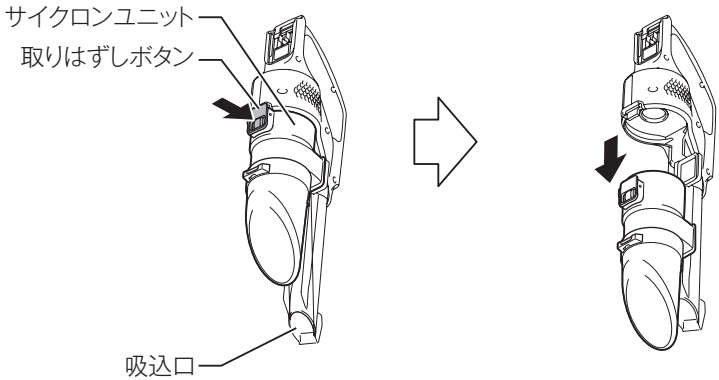
・ バッテリを差したまま行うと、不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意

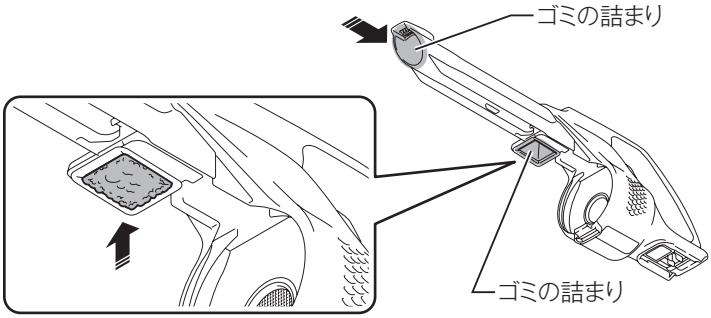
吸込口付近やサイクロンユニットの連結部にゴミが詰まっている場合は清掃してください。

・ ゴミが詰まったまま使用すると、発熱や発煙の原因になります。

1. 吸込口を下に向けた状態でサイクロンユニットをしっかり保持し、取りはずしボタンを押さえながら矢印の方向に取りはずします（42 ページ参照）。



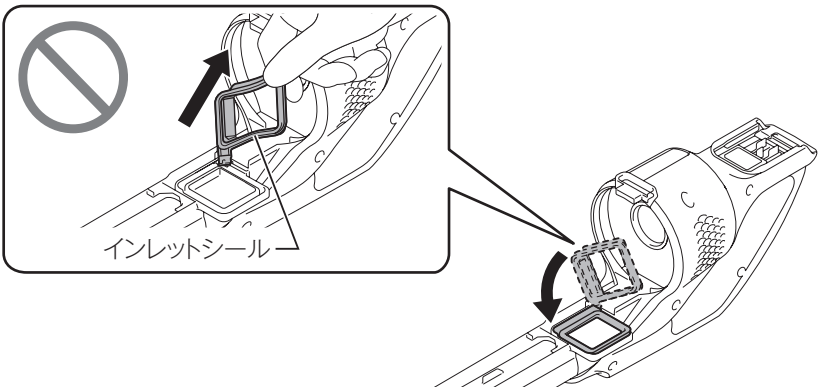
2. 図の矢印の方向からゴミが詰まっていないか確認し、ゴミが詰まっていれば除去します。



3. サイクロンユニットを取り付けます（44 ページ参照）。

注

- 連結部のインレットシールは完全には取りはずせません。
- お手入れの際にインレットシールがはずれた場合は、連結部の溝に合わせてしっかりと固定してください。
- サイクロンユニットを取り付ける際は、インレットシールが連結部に固定されていることを確認してください。
- 連結部のゴムを無理に引っ張ったり乱暴に扱ったりしないでください。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 31 ページ参照。

症状別点検項目一覧

症状	調べる所	直し方
吸込力が弱い	・ダストボックス内のゴミがいっぱいになっていませんか。	・ゴミを捨ててください。
	・フィルタ類が目詰まりしていませんか。	・フィルタ類をはたくか、洗浄してください。
	・サイクロンユニットのパイプ部にゴミが詰まっていませんか。	・サイクロンユニットのパイプ部を分解し、ゴミを除去してください（53ページ参照）。
	・バッテリが消耗していませんか。	・充電してください。
動かない	・バッテリが消耗していませんか。	・充電してください。
異音（ブルブル）がする	・フィルタ類が目詰まりしていませんか。	・フィルタ類をはたくか、洗浄してください。
	・ノズル、パイプ、本体吸込口などにゴミが詰まっていませんか。	・ノズル、パイプ、本体吸込口などに詰まったゴミを除去してください。
	・ノズルやパイプ先端をふさいでいませんか。	・ノズル、パイプ先端をふさがないようにしてください。

ご修理の際は

- 修理はご自分では行わないでください。必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。
- 保証期間中は、保証書の規定に従って修理いたします。製品と本書の保証書を一緒にお持ちください。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店、または当社営業所にご相談ください。

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881L33A4
CRE